

## 風谷峠植物採集記

坂井郡理科研究会と共に、6月23日風谷峠の採集会を行う。心配された梅雨空もからりと晴れて而も前日未の京福ストも無事解決。中学生高生徒を交えた一行45名は午前9時坪江駅前に集合、直に採集にかかる。

先ず駅前の草地に入る。水辺の石垣から イブキシタ、ケジゲジシタ、シケシタ、ヤブソテツ等のシダ類が採集され。ドクタミの群落の下にハンケショウがあった。草地には、ハルノノケシ、キツネノボタン、イノコヅチ、アシボソ、トウバナ、ヤブタビラコ、ミゾンバ、カタバミ、ヒメジョオン、カモチクサ、ドジョウツナギ、ミンイチゴツナギ、アメリカセンダンタサ、ウシハコベ、キシギシ、ツユクサ、オオイヌノフクリ、オニノケシ等が入りみだれて生えている。

道筋に沿って採集しながら権世に向う。路傍の草地にて更に、ナワシロイチゴ、ゴヨウアケビ、カラスウリ、ツルウメモドキ、アオツヅラフチ、ヘクソカズラ、ミチャヤナギ、ヒメコバンソウ、クルマバナ、イノモトソウ、ネムノキ、オランタツカ、ノスドウ、センニンソウ、メハジキ、キンミズヒキ、ツボスミレ、カニツリタサ、ナギナタガマ、オヘビイチゴ、ツボクサ、ニシノホンモンジュスケ、ケンノショウコ、ヒエカエリ、カラスムギ、イヌビエ、ヒルガオ、イ、クサイ、スカボニガナ、ミヤコクサ、アゼムシロ、ノアザミ、コウソリナ、スヌメノマリ、ヌマトラノオ等が採集された。ツボクサは花の真盛りで、時に美しく途中の一寺院には、オホマツヨイタサ、ハクチヨウケが花をつけていた。

更に進んで山地に近づく、ホシタ、ヒメシタ、ミズキボウシ、ツリフネンウ、メドハギ等直に添った水溝の傍で採集する。又、ネムノキ、ミツバウツギ、エゴノキ、ウコギ、カマラナデシコ、アゼスケ、コマツナギ、アキカラマツ、タチカモジクサ、ツギ、スイバ、オオイヌタデ、イヌタデも発見され出した。

権世の人口衛附近の山麓にて、小休止をして採集場の整理をする。クラマゴケ、ヤハラスケ、シシガシラ、イワガネセシマイ、クジヤクシタ、ヤマイタチシタ、クマワラビ、イノテ、ミズタビラコ、アキカラマツ、ネコハギ、エビスル、ツルマサキ、ノスドウ、ヌスピトハギ、ヤマボクチ、イタドリ、ウマノミツバ、オトギリソウ、シロネ、ヤブマメ、ミズヒキクサ、ミズタマソウ、アカシヨウマ、ハナイカタ、ゴウン、サワアジサイ、タラノキ、メタラ、アカメガシワ、エゴノキ、チチコクサ、ネコハギ、ツリカエデ、アカネ、オカトラノオ、チヂミザサ、コウモリカズラ、ボタンスル等を採集する。権世か

ら山地にかかる。ムカゴイラクサ、ベニシダ、サカケイノテ、ジュウモンジシタ、トランオシタ、オクマフラビ、ツルシノフ、クマフラビ、サトメシタ、フモトシタ、リヨンメンシタ、ヤマコボウ、クサイチコ、シロザ、イワヘゴ、シュウメイギク、シヤク、イタビカズラ、アマチャマスル、ヒナンカズラ、ソタウルシ、ティカカズラ、ヤマニガナ、トキワハゼ、ユウカギク、ヤマネコノメンソウ、イヌガヤ、ヤブコウジ、ハグロソウ、コウガイセキショウ、コナスピ、ミゾホオズキ、ササカヤ、ウツバミソウ、タニカワスケ、ホウチマクソウ、タチシオテ、トリアシショウマ、クルマバヒヨドリバナ、イヌガシソク、オオバニガナ、オオバオオセイ、シライトイソウ、アキノハハコタサ、チコクサ、サイハイラン、オニヒカゲフラビ、ニフトコ、コアチサイ、サワアヂサイ、アスナロ、シロタモ、等を採集して、権世市野々奥の旗範林で昼食をする。時間の関係で風谷峠の予定を変更して権世市野々に引きかえし、熊坂に出る。

此の予定変更は採集に幸して貴重な採集会となつた。

アラススキ、ツクバネウツギ、ホツツジ、マルバマンサク、コシアフラ、アカガシ、サイコクミツバツツジ、ナンキンナナカマド、オホニカナシラキ、クロモジ、サカキ、ヒサカキ、オオフチイバラ、ウラジロ、クサニフトコ、ハイドクソウ、ツルアリドウシ、アオイスミレ、ナツノタムラソウ、タガネソウ、イカリソウ、クルマバハクマ、シケチシタ、ヤマイタチシタ、ホラシノフ等を採集す。特、シラキ、マサキ、アカガシの採集は貴重な獲物であつた。

又密傍の谷川や田の所にモリアオガエルの卵やヒキガエルのおたまじやくしも採集された。更に、ウラジロ、オトギリンウ、ノササケ等を採り熊坂の学校より北進して貯水池まで来た此の池の水生植物の群落の景観に一同は大悦びをした。椿や竹を持ち出して、シュンサイ、ヒツジクサ等を採集する池畔の水ざわに、モウセンゴケやセンブリを採集した。

下金屋より又山道をぬけて細名木に出ることにした。

先ず下金屋の林道の水辺で、ミズスギ、モンセンゴケを採集し、化石も採集することが出来て一同大喜びである。

峰の山道の植物相は次のようである。

ママコナ、ササユリ、サイコクミツバツツジ、ネジキ、アズキナシ、コナラ、イソノキ、ヤマウルシ、エゴノキ、ウツバミズザクラ、ミツバアケビ、カマツカ、リヨウブ、アズキナシ、ウリカエデ、オカトランオ、ハデサルトリイバラ、フルマバハクマ、ヤブコウジ、アラススキ、シラヤマギク、アリノトウタサ、ウラジロノキ、クロモジ、コアジサイ、コシアフラ、サイフリボク、アオハダ、タニウツギ、ウリカエデ、マルバアオダモ、コバンガマズミ、ヒサカキ、サルトリイバラ、オトギリンウ、オオフチイバラ、

滝より細名木駅に出る。駅附近で、ドクムギ、ヘラオオバコ、マイタングバイナスナ等を採集して今日の行程を終る。特に今回は坂井郡の先生方生徒も多数参加され採集品としてアカガシ、サカキ、シラキ、サイハイラン、ミズスギ、モンセンゴケ、ヒツジクサ、ジュ

(添)

ンサイ それに化石等予期しなかったものが多かった。

(荒川九兵衛記)

## 田鳥採集記

今年の総合探査集会は小浜市田島に白羽の矢が立てられた。さて8月11日午前5時半、福井駅には伊藤先生をはじめ小林、島崎、酒井、田尻、伊藤+の各氏と小生、鶴江で福井長が乗車され、早くも心は田島に飛び、探査についての細い打合せがすすめられた。小浜線大島羽駅に着いたのが少し遅過ぎ、バスの連絡までには時間がありすぎる、探査一決金貢海士坂をへて田島迄歩く事になった。8月の陽光は遠慮なく振りそそぎ、その暑い事。しかし總勢2名は路傍の植物に目を、愉快なジョークに耳をかたむけて唯歩くだけ。峠のトンネルをこえて見た田島の光景は、今迄の疲れを吹き飛ばしてくれた。ここ迄に見られた植物の主なものについて記述すると、イヌキシタ、ハンケ、ヌマトランオ、ヤマモモ、ゴンズイ、アワスキ、スタジイ、アセビ、ソヨゴ、ウラジロ、アカガシ、シラキ、タブノキ、イソノキ、ハゼノキ等南北の植生とは全くその景観玄異にし、南北生まれの人間には珍らしいものばかりである。トンネルをこえてからの植物には、ヤシヤスシ、オオバクミ、ワカサハマギク、コマツナギ、マサキ、ヤブツバキ、アカガシ、シロタモ、シロヨメナ、ティカカズラ、オニヤフソツツ、ノカリマス、クサギ、タンゴイワガサ、ケムラサキ、コウヤボウキ、ニシノホンモンジスケ、アセビ、サンカクスル、タンコウバイ、タチシノブ等が見られ、こちらの方は樹木がよく茂り、各樹戸の被覆も大きい様である。

かくして一行は、田島の宿舎に落ち付き、昼食にした。おかげで出されたイナタの丸煮を見て、近頃の魚の出来栄えも想像出来る。この昼食もそこそくに各班に分れて探査にと出向いていった。堀館長、酒井先生それに小生の三人は、田島より須ノ浦の方に探査に出立、その間に見られたものにはキクバボクチ、コナラ、アフラギリ(裁者のためにきれいに下草がかられ、花時にはさぞ美しいだろうと思う)ホソバカナワラビの群落、ウラジロノキ、クロモジ、ヒサカキ、ハリギリ、ホタルフクロ、ヒキヨモギ、ヤブレガサ、コバノカナワラビ、ヤブハギ、コクサギ、アワスキ、ホシタ、イヌシタ、ウリハタカエデ、アカガシ、トリガタハンショウスル、イヌシタ、ミゾシタ、ベニシタ、ミカエリソウ、ヒメワラビ、タジマタムランウ、アカシヨウマ、サンインヒキオコシ、イボタノキ、ヨコグラノキ、キヌシ、シヨゴ、サイゴクミツバツツジ、クマヤナギ、ツルアリドウシ、タンドボロギク、クサイチゴ、フユイチゴ等が見られた。なおヨゴクラノキは昭和8年の目録作表